

アドミッション・ポリシー等に関する論点

◆ アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー（以下、「3つのポリシー」）を、大学設置基準における法令上の義務規定として規定することについて

- ・ 大学における「3つのポリシー」の普及、理解の状況
- ・ 現行の関連規定の見直しの必要性、観点

○大学設置基準（昭和三十一年十月二十二日文部省令第二十八号）

（入学者選抜）

第二条の二 入学者の選抜は、公正かつ妥当な方法により、適切な体制を整えて行うものとする。

（教育課程の編成方針）

第十九条 大学は、当該大学、学部及び学科又は課程等の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、大学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮しなければならない。

○学位規則（昭和二十八年四月一日文部省令第九号）

（学位規程）

第十三条 大学は、学位に関する事項を処理するため、論文審査の方法、試験及び学力の確認の方法等学位に関し必要な事項を定めて文部科学大臣に報告するものとする。

2 （略）

・ 3つのポリシー相互の関係性に関する規定を設けることについて

○「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（案）」（平成26年10月24日第21回高大接続特別部会資料より）

また、各大学においては、それぞれの強み、特色や社会的役割に応じたアドミッション・ポリシーが策定されることが必要である。国は、各大学におけるアドミッション・ポリシーの策定について法令上位置づけるよう検討すること。 また、各大学においては、大学教育を通じて学生にどのような力を身に付けさせて卒業させるか、そのためにどのような教育を実施するか、教育を実施するに当たってどのような学生を受け入れるのかという一貫した観点から、アドミッション・ポリシーと合わせて、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を策定することが必要であることから、これらの一体的な策定を法令上位置づけるよう検討すること。

- ◆ アセスメントポリシーを大学設置基準に位置付けることについて
 - ・ 具体的な規定の内容について
 - ・ 大学におけるアセスメントポリシーの普及、理解の状況
 - ・ 3つのポリシーとアセスメントポリシーの関係性の整理

○「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（平成 24 年 8 月 28 日中央教育審議会答申（抄））

8. 今後の具体的な改革方策

①速やかに取り組むことが求められる事項

(ア) 学長を中心として、副学長・学長補佐、学部長及び専門的な支援スタッフ等がチームを構成し、当該大学の学位授与の方針の下で、学生に求められる能力をプログラムとしての学士課程教育を通じていかに育成するかを明示すること、プログラムの中で個々の授業科目が能力育成のどの部分を担うかの認識を担当教員間の議論を通じて共有し、他の授業科目と連携し関連し合いながら組織的な教育を展開すること、プログラム共通の考え方や尺度（アセスメント・ポリシー）に則った成果の評価、その結果を踏まえたプログラムの改善・進化という一連の改革サイクルが機能する全学的な教学マネジメントの確立を図る。学長を中心とするチームは、学位授与の方針、教育課程の編成・実施の方針、学修の成果に係る評価等の基準について、改革サイクルの確立という観点から相互に関連付けた情報発信に努める。特に、成果の評価に当たっては、学修時間の把握といった学修行動調査やアセスメント・テスト（学修到達度調査）、ルーブリック、学修ポートフォリオ等、どのような具体的な測定手法を用いたかを併せて明確にする。

○中央教育審議会高大接続特別部会「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について（案）」（抄）

2. 新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた改革の方向性

(3) 大学教育の質的転換の断行

大学において育成すべき力を学生が確実に身に付けるためには、大学教育において「教員が何を教えるか」よりも「学生が何を身に付けたか」を重視しすることが必要である。このため、各大学が大学教育で身に付けさせる力等を明確にした上で、ナンバリングの導入等も含め、個々の授業科目等を越えた大学教育全体としてのカリキュラム・マネジメントを確立し、教育課程の体系化・構造化を行う。また、大学全体としての共通の評価方針のもと、学生の学修成果を把握・評価し、これに基づく厳格な成績評価や卒業認定を行う。そのためには、多様な評価手法の開発や、評価に係る専門的人材の育成を迅速に行わなければならない。